



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,779	1.9	831	△0.9	935	△0.1	479	61.8
23年3月期第3四半期	12,536	△1.8	838	△4.9	936	△0.5	296	△47.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 300百万円 (223.7%) 23年3月期第3四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6.94	—
23年3月期第3四半期	4.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,855	14,366	72.4
23年3月期	19,940	14,348	72.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 14,366百万円 23年3月期 14,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
24年3月期	—	1.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	0.8	950	△3.8	1,050	△3.5	550	135.6	7.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)」に関する事項を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	69,774,401 株	23年3月期	69,774,401 株
24年3月期3Q	811,825 株	23年3月期	561,037 株
24年3月期3Q	69,074,300 株	23年3月期3Q	69,214,471 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における我が国経済は、東日本大震災や原子力発電所事故による景気の停滞から緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機への警戒感や米国経済の減速懸念を背景とした急激な円高進行などにより、先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましても、震災後の内食化の傾向が強まるなど、家庭用商品の売上に回復の動きが見られましたが、厳しい雇用情勢や所得環境から消費者の節約志向は継続しており、食品の原料副資材価格も上昇傾向にあり、業界全体で依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは、お客様に支持される「安全・安心・信頼」の商品づくりに取り組み、主力商品であるウスター・中濃・とんかつソースへのより一層のお客様の需要の喚起、売上の拡大を図ってまいりました。

当社グループのソース類事業における家庭用商品につきましては、主力商品の売上が堅調に推移しました。イカリソースでは、伝統の味を継承しながら、時代の変化をとらえてアレルギー物質25品目の原料不使用など新配合こだわりの「新トリプル10」として、主力商品をリニューアルし、売上は順調に推移しました。

月島もんじゃ焼材料セット及びお好み焼ソース関連商品では、引き続き量販店の店頭で試食販売等を積極的に展開し売上拡大を図る一方、親子料理教室や親子手作りソース教室の実施を通じて、調味料としてのソースに対する需要の喚起を図ってまいりました。さらに、大学などの学園祭や地域おこしのイベントへの協賛や支援を通じて、当社のブランド力向上に取り組んでまいりました。

業務用商品では、新規顧客獲得など、売上拡大のための販売活動を積極的に展開するとともに、業務用研究開発の人的組織的な強化により業務用ユーザーの商品ニーズにスピーディーに対応できる体制を整備し、食品産業及び外食産業の新規チャネルの拡充に積極的に取り組みました。当社グループの業務用商品のさらなる売上拡大を進めています。

また、中国現地法人 富留得客（北京）商貿有限公司においては、商品の供給体制を強化するとともに、中国国内の外食店・日本食店、量販店への商品提案など幅広いウスターソース類の販売の拡充に取り組み、商品の定着を目指しています。

その結果、売上高におきましては、対前年同期比2億4千3百万円増加し、127億7千9百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

営業利益におきましては、対前年同期比7百万円減少し、8億3千1百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益におきましては対前年同期比1百万円減少し、9億3千5百万円（前年同期比0.1%減）、四半期純利益におきましては、対前年同期比1億8千3百万円増加し、4億7千9百万円（前年同期比61.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8千4百万円減少し、198億5千5百万円となりました。主なものは、流動資産では、受取手形及び売掛金5億5百万円の増加などがあったものの、現金及び預金が2億4千3百万円減少し、固定資産においては、投資有価証券が3億2百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少し、54億8千8百万円となりました。主なものは、流動負債では、支払手形及び買掛金1億2千6百万円の増加などがあったものの、未払費用が1億7千2百万円減少し、固定負債においては、長期借入金が3億1千万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1千8百万円増加し、143億6千6百万円となりました。これは主に利益剰余金2億3千7百万円の増加などによるものです。これにより自己資本比率は、72.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年7月29日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,375	2,131
受取手形及び売掛金	4,214	4,720
商品及び製品	364	381
原材料及び貯蔵品	99	126
仕掛品	24	25
繰延税金資産	259	259
その他	55	65
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,393	7,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,196	2,098
機械装置及び運搬具（純額）	1,216	1,143
土地	2,711	2,711
その他（純額）	81	66
有形固定資産合計	6,204	6,019
無形固定資産	73	61
投資その他の資産		
投資有価証券	5,341	5,038
繰延税金資産	386	482
その他	573	577
貸倒引当金	△33	△34
投資その他の資産合計	6,268	6,063
固定資産合計	12,546	12,145
資産合計	19,940	19,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,646	1,773
1年内返済予定の長期借入金	310	310
未払法人税等	20	324
未払費用	1,046	873
賞与引当金	212	100
その他	268	302
流動負債合計	3,505	3,684
固定負債		
長期借入金	1,090	780
退職給付引当金	802	838
長期未払金	173	166
その他	21	19
固定負債合計	2,086	1,804
負債合計	5,591	5,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,139	11,377
自己株式	△394	△434
株主資本合計	14,354	14,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	△184
その他の包括利益累計額合計	△5	△184
純資産合計	14,348	14,366
負債純資産合計	19,940	19,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,536	12,779
売上原価	5,954	6,098
売上総利益	6,581	6,681
販売費及び一般管理費	5,742	5,850
営業利益	838	831
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	111	114
その他	12	13
営業外収益合計	124	127
営業外費用		
支払利息	25	21
その他	0	2
営業外費用合計	26	23
経常利益	936	935
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	28	13
投資有価証券評価損	397	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4	—
災害による損失	—	30
その他	1	9
特別損失合計	432	124
税金等調整前四半期純利益	504	810
法人税、住民税及び事業税	208	331
法人税等合計	208	331
少数株主損益調整前四半期純利益	296	479
少数株主利益	—	—
四半期純利益	296	479

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	296	479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	△178
その他の包括利益合計	△203	△178
四半期包括利益	92	300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	300
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、ソース類の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

当社は、平成23年8月19日開催の取締役会において、会社法165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、平成23年8月22日に250,000株、40百万円の自己株式を取得しました。